

# PP カートリッジ・フィルター 取扱説明書



ネットアンドサービス株式会社

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-10-25

TEL :03-3946-5071 FAX :03-3946-7921

ホームページアドレス <http://www.rokaki.com>

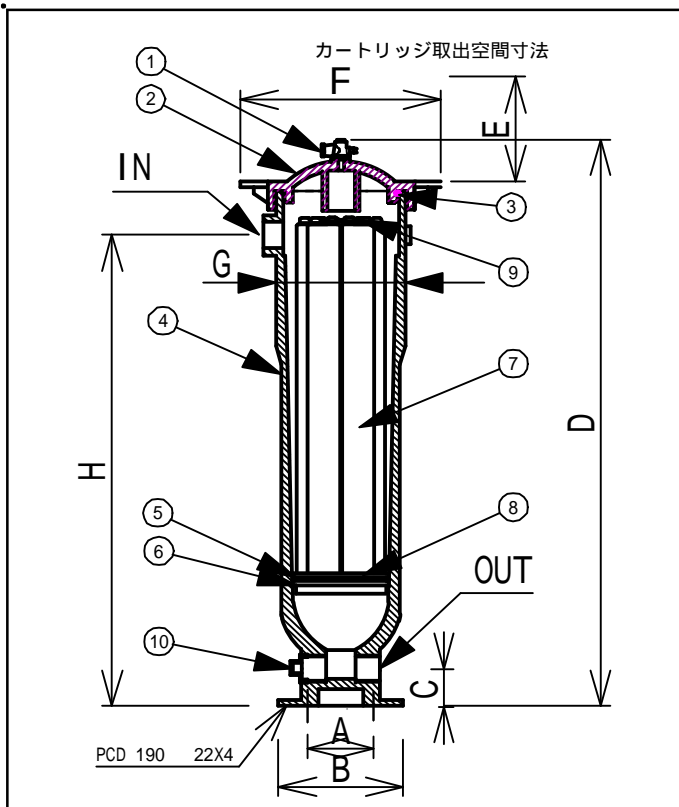
## はじめに

このたびは、PPカートリッジフィルター-CF型をお買い上げいただき誠にありがとうございました。お求めのPPカートリッジフィルターを正しくご使用していただくため、ご使用になる前に必ず本書をよくお読みの上、本書にしたがって設置、配管、運転を行って下さい。また、お読みになったあとも大切に保管して下さい。本製品は厳重に梱包され出荷されますが、輸送中の損傷も考えられますので必ず検査を行って下さい。万一製品に損傷がございましたら直ちに当社までご連絡を下さい。

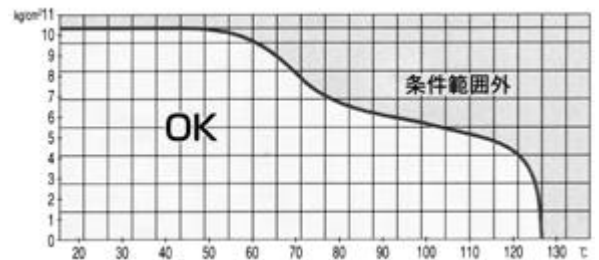
### 1.仕様

耐圧(本体)	:10.5kg/cm <sup>2</sup> (液温21の場合)
最高使用温度	:114 (カートリッジを除いた場合)
最大流量	:380L/min (カートリッジを除いた場合)
入口、出口、ドレイン口径	:2" NPT
エア抜き接続	:内径8mmチューブ (オプション)
本体材質	:硝子繊維入PP製 (PVDFタイプも特注で製造可能です。)
O-リング材質	:パイトン (オプションにてEPDMもあります。)
カートリッジエレメント	ポリプロピレン製
(ネジ込み型)	CF750型 :約750mm x5本 CF500型 :約250mm x5本
オプション	:PVCフランジ、リング (EPDM製)

外形図



圧力と温度条件



材質表

No.	部品名	材質
1	ヘッドバルブ	硝子繊維入PP
2	カバー	硝子繊維入PP
3	カバー用O-リング	パイトン
4	ボディ	硝子繊維入PP
5	底板	PP
6	底板用O-リング	パイトン
7	カートリッジエレメント	PPワイド
8	カートリッジ接続ネジ	PP
9	カートリッジメクラプラグ	PP
10	ドレインプラグ	硝子繊維入PP

Oリングは材質EPDMもあります。

外形寸法表 (mm)

型式	A	B	C	D	E	F	G	H	I	重量kg
CF500	165	254	83	805	508	467	264	603	250	22.3
CF750	165	254	83	1220	914	467	264	1016	750	28.6

## カートリッジエレメント仕様

品名	適応機種	型式	ミクロン数 (公称)	最大流量L/min	最高使用温度	材質	直径×全長mm
ワインド (糸巻き)	500用	TPKN250-1	1	19	71	ポリプロピレン	62X250
		TPKN250-5	5				
		TPKN250-10	10				
		TPKN250-25	25	26			
		TPKN250-50	50				
		TPKN250-75	75				
	750用	TPKN250-100	100	45			
		TPKN750-1	1	38			
		TPKN750-5	5				
		TPKN750-10	10	52			
		TPKN750-25	25				
		TPKN750-50	50				
		TPKN750-75	75	68			
		TPKN750-100	100	90			62X750

## 2. 据え付け

紫外線による樹脂劣化を避けるため屋内に設置して下さい。



必ず本体をボルトで固定して下さい。固定しないと配管を破損する可能性があります。

## 3. 配管

フィルターハウジングの接続口径は2" NPT です。入口、出口及びドレンにバルブを取り付けて下さい。

エア抜きはOリングを必ず付け、内径8mmのホースに接続して下さい。

温度変化が考えられる場合は、PVCフランジ接続タイプをご利用して下さい。

## 4. 運転準備

カバーがしっかりと締め付けられているか、また配管に液漏れはないか確認し全てのバルブを閉にする。



禁止事項 本体カバーの締め付けは工具等を使用せずに手締めで行って下さい。

## 5. 運転

PPカートリッジ・フィルターの出口バルブを閉じる。

PPカートリッジ・フィルターカバーのエア抜きを、少しずつ開ける。

エアが抜け、液体が出た時点で、エア抜きを閉じる。

入口バルブを、全開にする。

出口バルブを、全開にする。

## 6. 固形物取出時期

PPカートリッジ・フィルター内部に集められた固形物は、圧力1kg/cm<sup>2</sup>を越えた時点でカートリッジエレメントを交換する必要が有ります。



禁止事項 運転中は本体カバー、エア抜き、ドレンバルブは絶対に開けないで下さい。

## 7. カートリッジエレメントの交換

入口バルブを閉じる。

出口バルブを閉じる。

PPカートリッジ・フィルターのドレンバルブを開く。

内部の液体を完全に排出するために、エア抜きバルブを開ける。

本体カバーを反時計方向に回転させ取り外す。

内部には5本のカートリッジエレメントが入っています。古いカートリッジエレメントを反時計方向に回し取り外す。

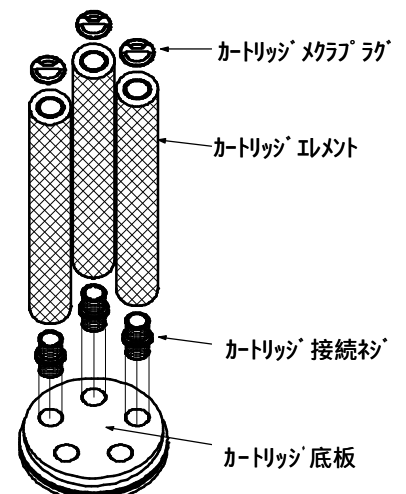
カートリッジメクラプラグとカートリッジ接続ネジを古いカートリッジエレメントから外し、

新しいカートリッジエレメントに取り付ける。

新しいカートリッジエレメントを時計方向に回し、しっかりと底板に取り付ける。

本体カバーを時計方向に回転させしっかりと締め付ける。

運転の手順 ~ の操作を行う。



# 当社製品の保証に関する規定

この度は当社製品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。製品に関する保証の責は当社が負うものであり、それに関連する諸事項は下記の通りです。尚、売買契約時に双方によって決められた事項はこの限りではありません。

## 1. 当社製品ご購入後の製品に対する補償の件。

- 1-1. 当社は製品納品日から起算して1年間を補償期間と致します。
- 1-2. 上記期間に、製品に何等かの支障が生じた場合、その原因が当社に在ると認められたものに関しては、当社が責任を持って無償によるサービスを致します。

## 2. 補償の範囲

当社製品が何等かの故障を生じた場合、その原因が当社の据付作業のみ、あるいは製品材質の不良によるものだとということが明確に判断された場合には、当社は責任をもって対処致します。

## 3. 補償方法

- 3-1. 補償期間中に破壊部品が生じ、修理を必要とする場合には、当該製品を弊社宛にお送り下さい。検査判定の結果、当社側に責があると認められた場合には無償にて修理または交換品をお送り致します。
- 3-2. 当社技術スタッフが事故現場へ赴き修理及び部品交換を行う場合、その事故原因が当社側のみ存在する場合には、当社が全額を負担致します。

## 4. 補償の例外事項 –その1–

次の場合は補償の範囲には該当せず、当社はその責を負い兼ねます。

- 4-1. 当社指定圧力以上のポンプ選定によるフィルター破損の場合。
- 4-2. 事故原因が、貴社による配管作業、及び取付作業の不適切により生じた場合。
- 4-3. 事故原因が、取扱方法、及びメンテナンスの不適切に起因する場合。
- 4-4. カートリッジ・エレメント等の消耗品の消耗。

## 5. 補償の例外事項 –その2–

当社製品の事故によって他の場所への事故、損害が波及した場合、その関連損害については当社は補償の責を負いません。